

問10 県の取り組みでよくやっていると思う分野、努力が足りないと思う分野

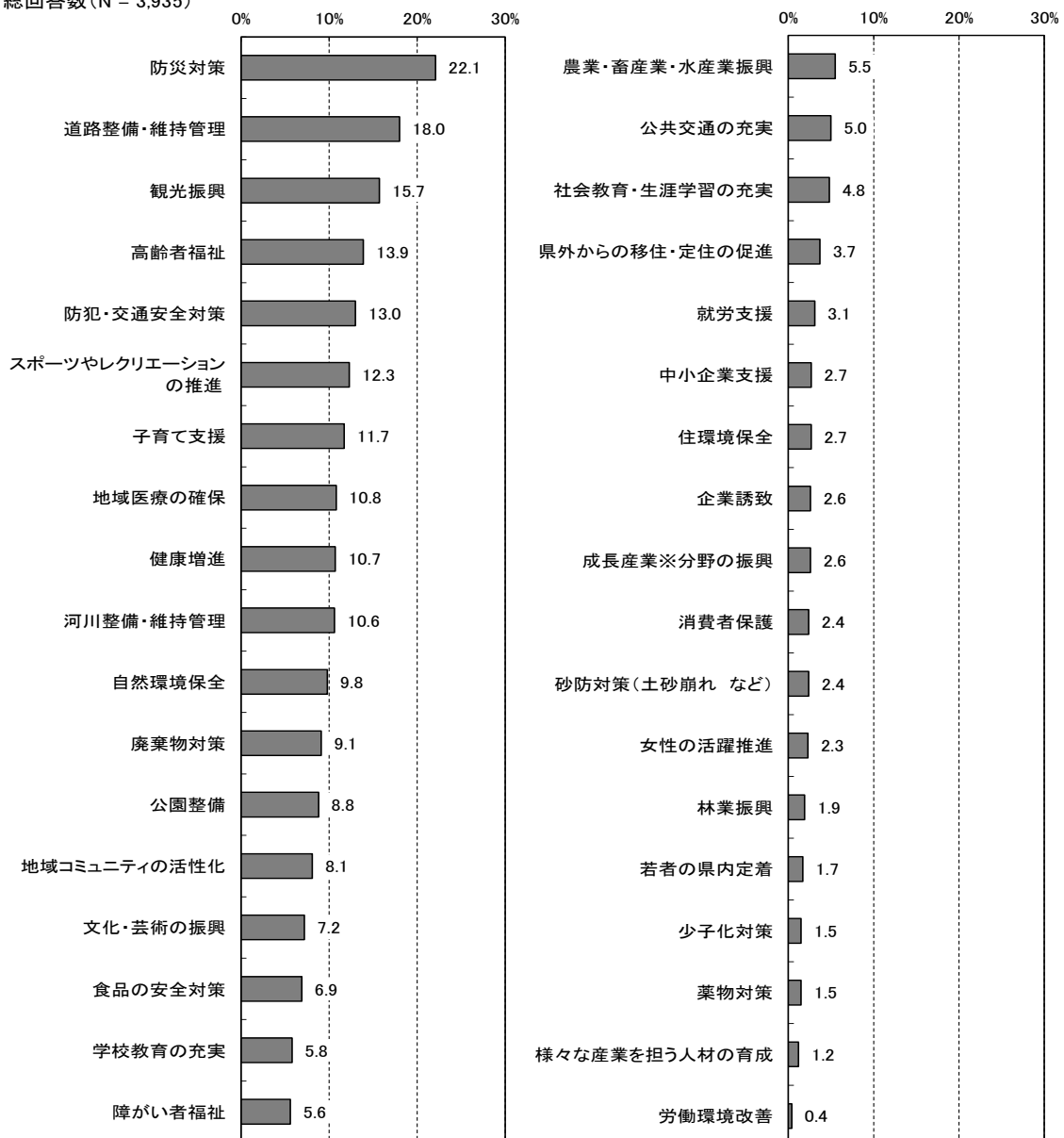
問10 あなたが、県の取り組みについてよくやっていると思うのは、どの分野ですか。
また、努力が足りないと思うのは、どの分野ですか。(それぞれ5つまで)

【県の取り組みでよくやっていると思う分野】

全体(図10-1)でみると、「防災対策」が22.1%と最も高く、次いで「道路整備・維持管理」(18.0%)、「観光振興」(15.7%)の順となっている。

図10-1 県の取り組みでよくやっていると思う分野

回答者数(n = 1,436)
総回答数(N = 3,935)



※ 成長産業: 岐阜県においては、航空宇宙、医療福祉機器、医薬品、食料品、次世代エネルギーを位置づけている。(H30年度現在)

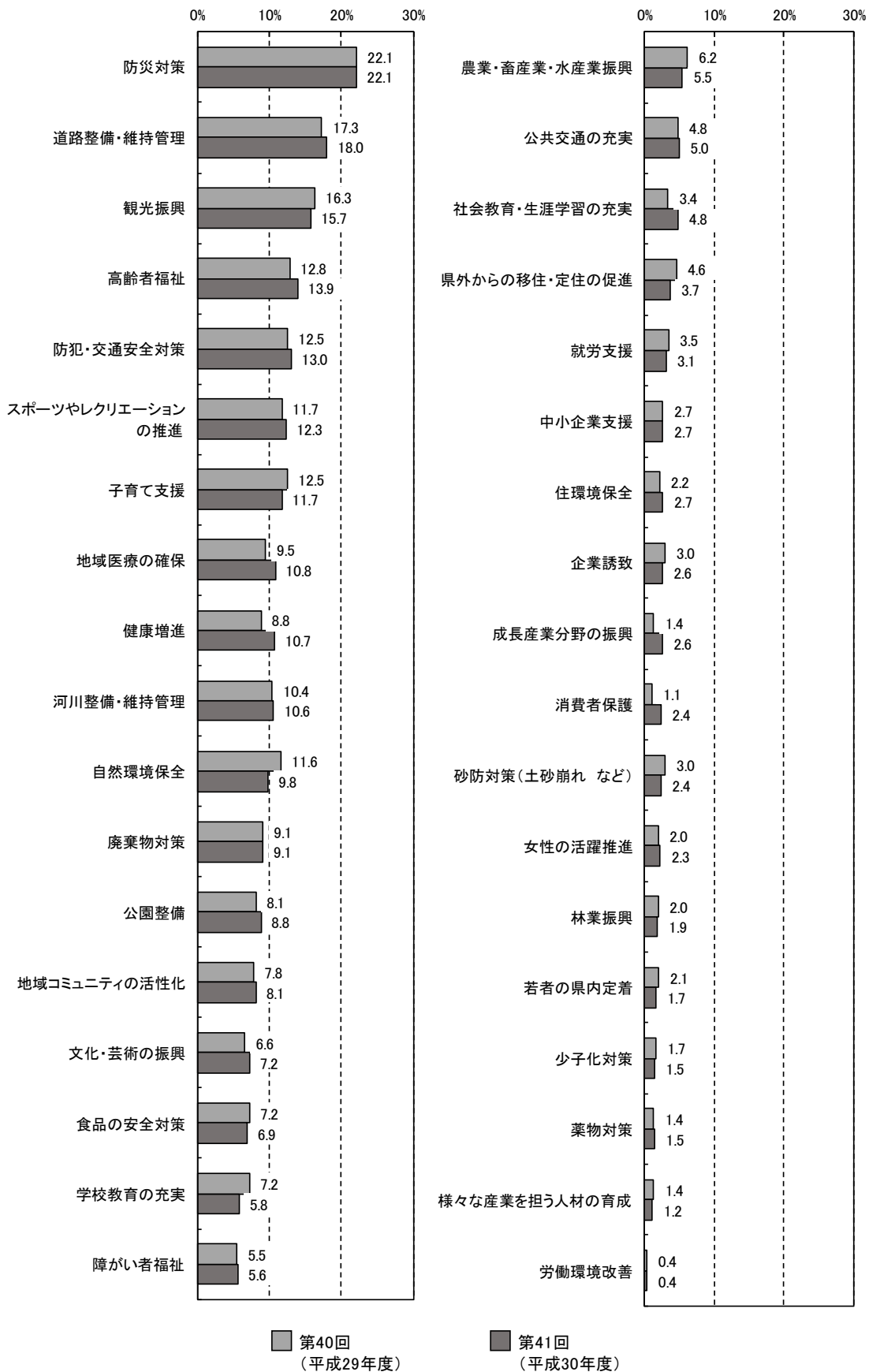
※ 第39回調査では、選択肢が13分野で3つまでの選択であった。

※ 本問における選択肢は、図表の構成上、以下のとおり略して表示しているものがある。

・住環境保全: 騒音・振動・大気・土壌対策などの住環境保全

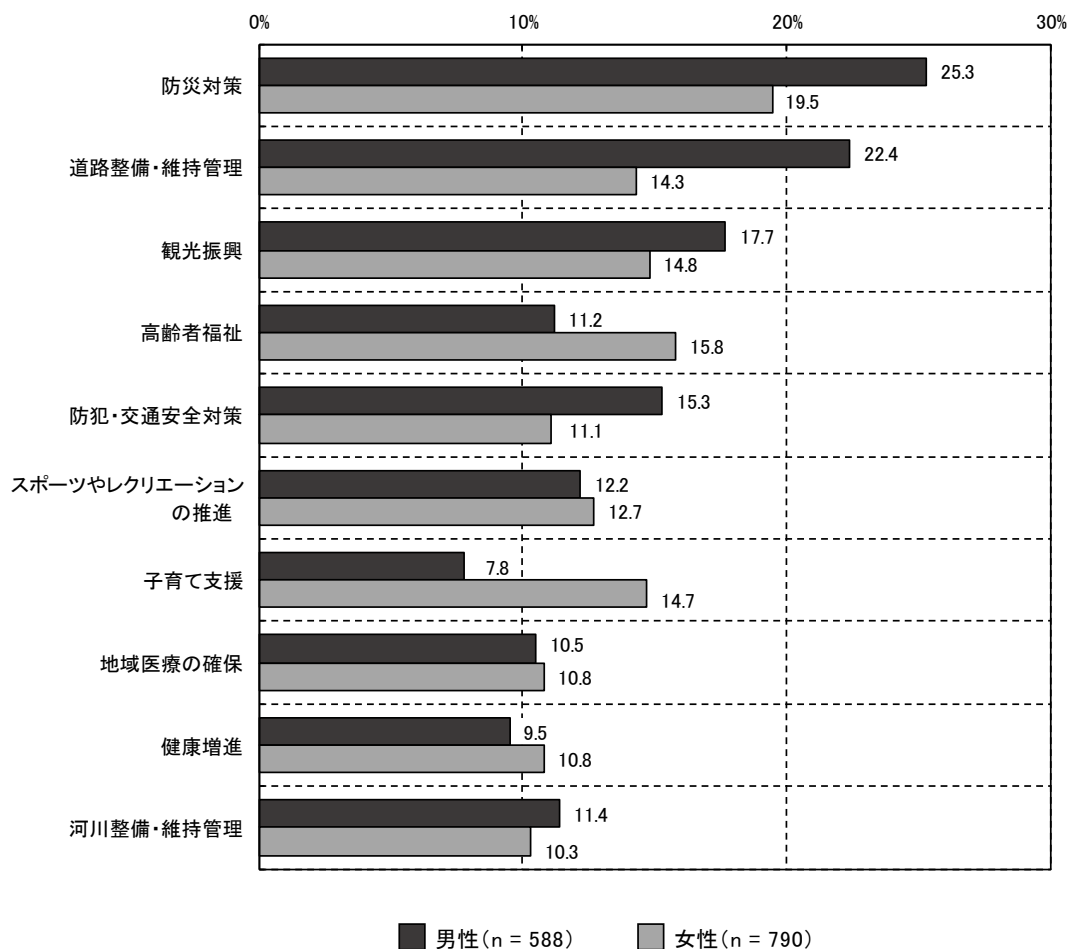
前回比較（図 10-2）でみると、前回と同様に「防災対策」が 22.1%と最も高く、次いで「道路整備・維持管理」（18.0%）、「観光振興」（15.7%）の順となっている。

図 10-2 【前回比較】 県の取り組みでよくやっていると思う分野



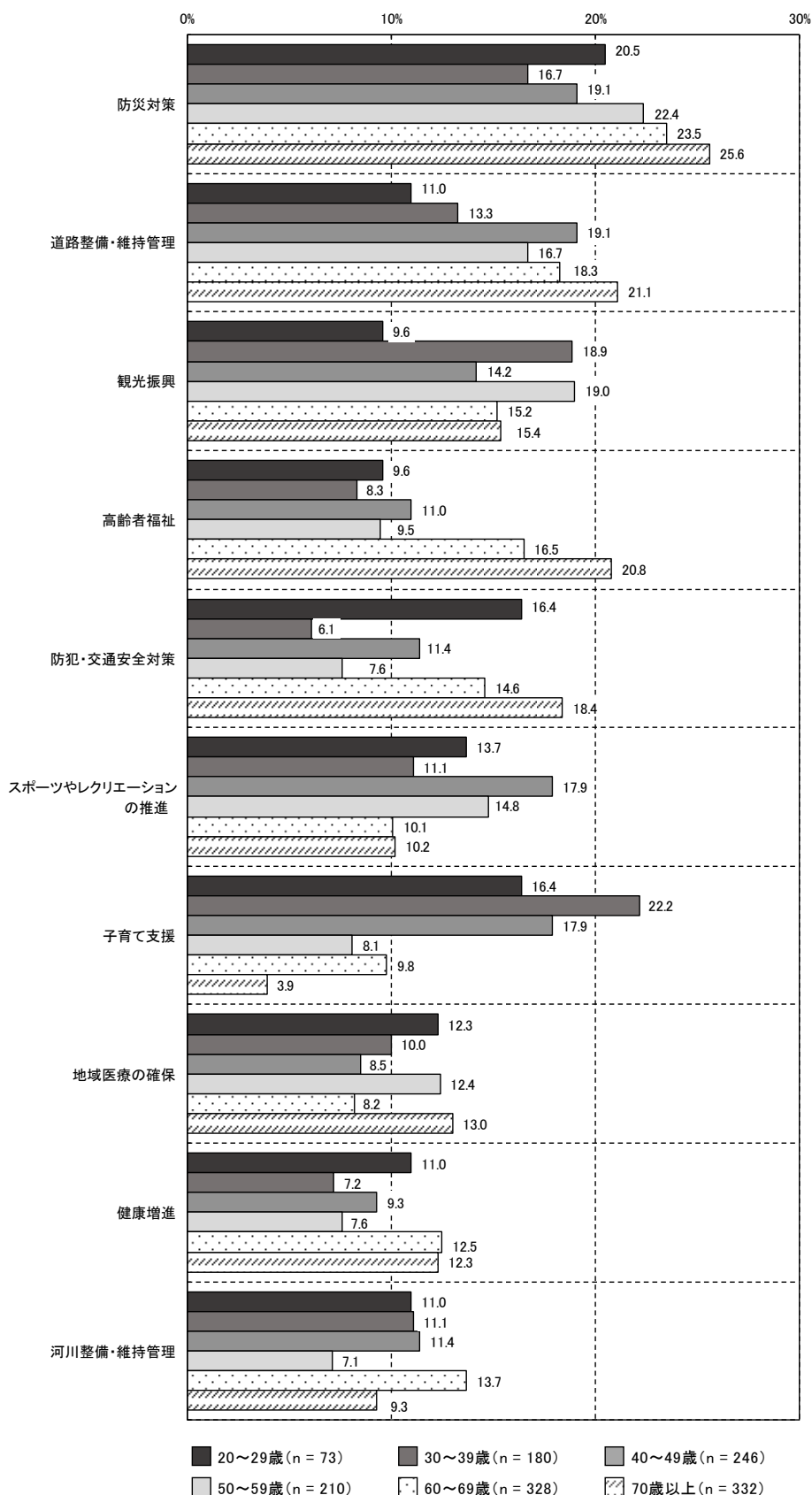
性別（図 10-3）でみると、男女ともに「防災対策」が最も高く、男性が女性より 5.8 ポイント高くなっている。「道路整備・維持管理」では、男性が女性より 8.1 ポイント、「子育て支援」では、女性が男性より 6.9 ポイント、それぞれ高くなっている。

図 10-3 【性別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野（上位 10 施策）



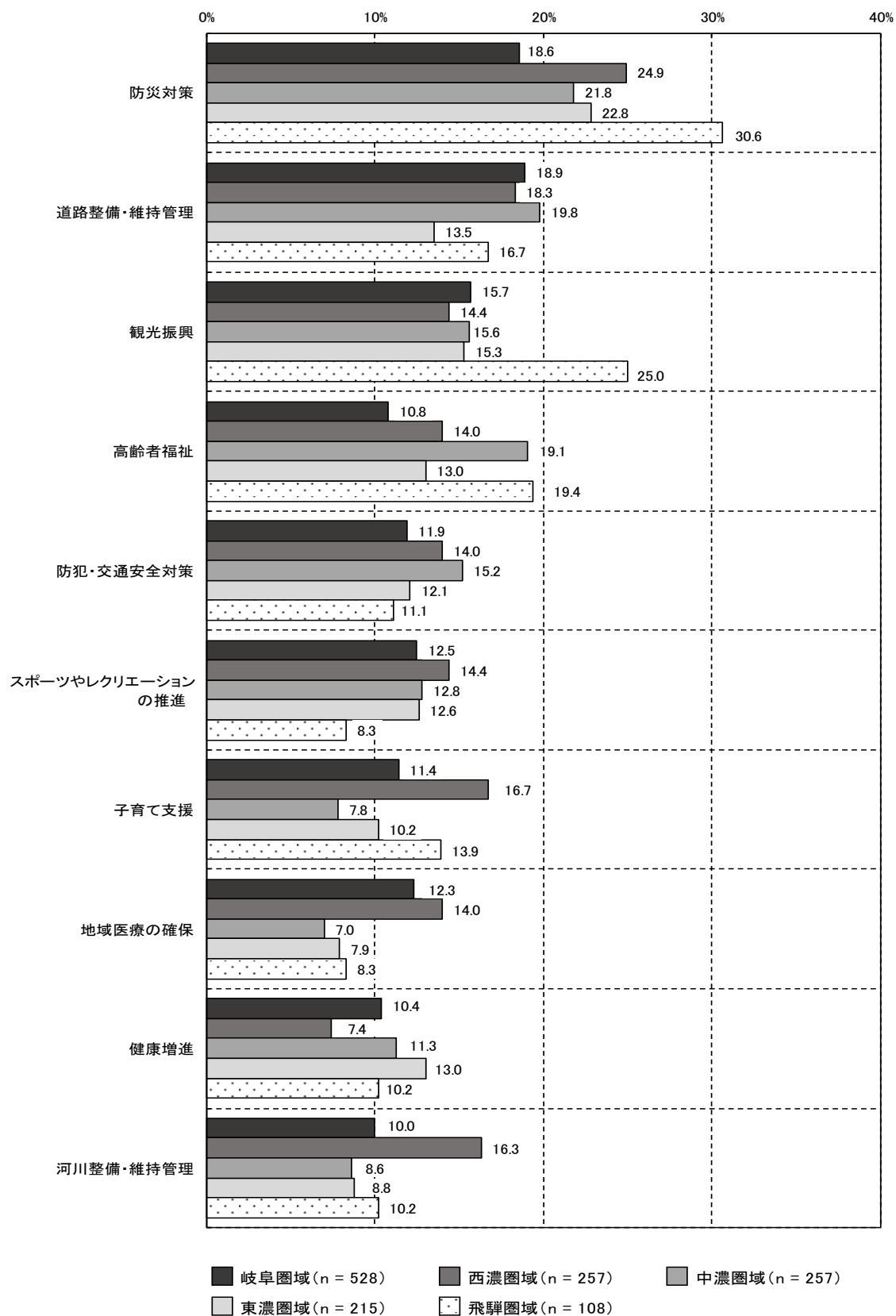
年代別（図 10-4）でみると、30 歳代を除く全ての年代で「防災対策」が最も高く（40 歳代は「防災対策」と「道路整備・維持管理」がともに 19.1%）、そのうち 70 歳以上が 25.6%と最も高くなっている。30 歳代は「子育て支援」が 22.2%と最も高くなっている。

図 10-4 【年代別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野（上位 10 施策）



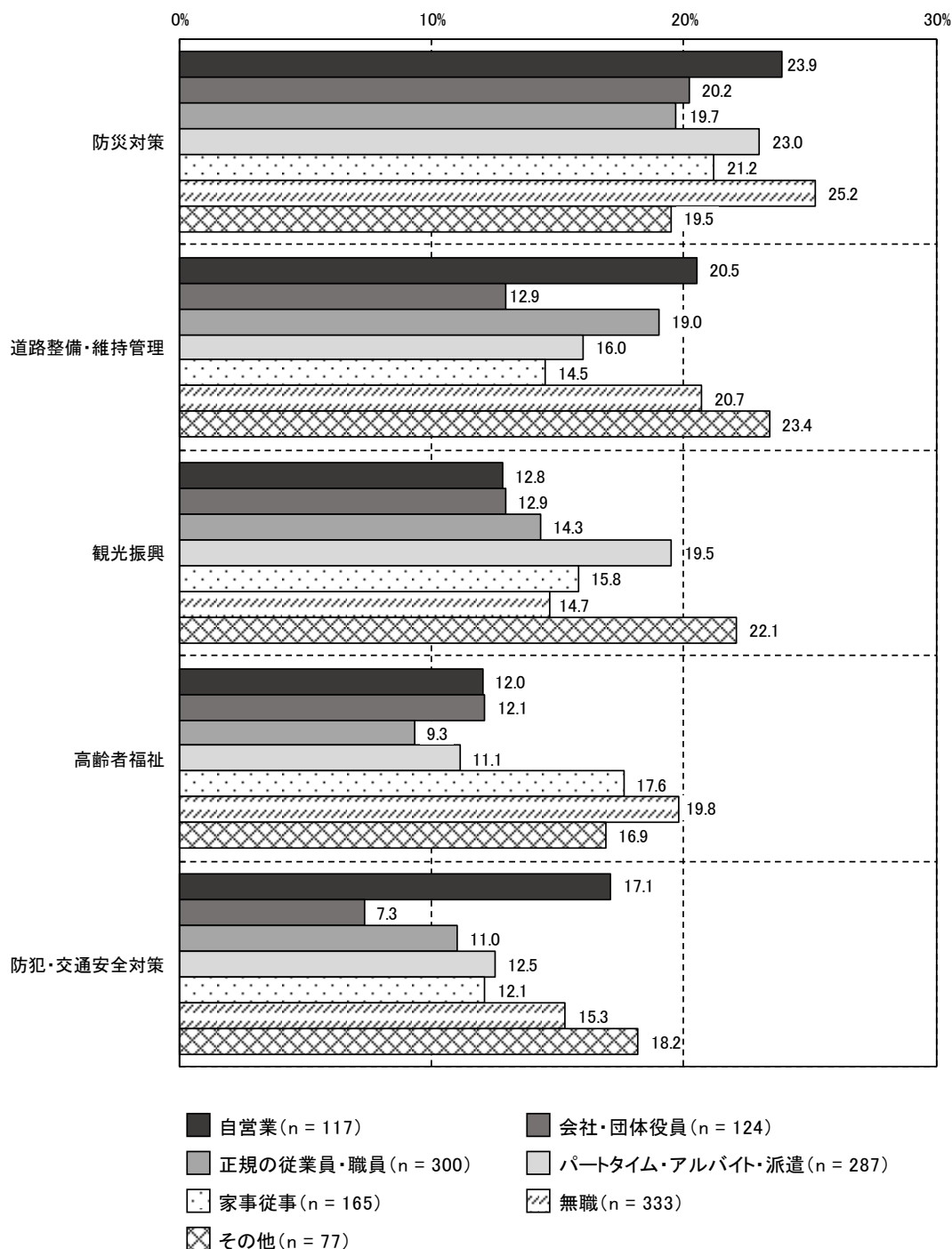
居住圏域別（図 10-5）でみると、岐阜圏域を除くいずれの居住圏域においても「防災対策」が最も高く、そのうち飛騨圏域が30.6%と最も高くなっている。岐阜圏域では、「道路整備・維持管理」が18.9%と最も高くなっている。

図 10-5 【居住圏域別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



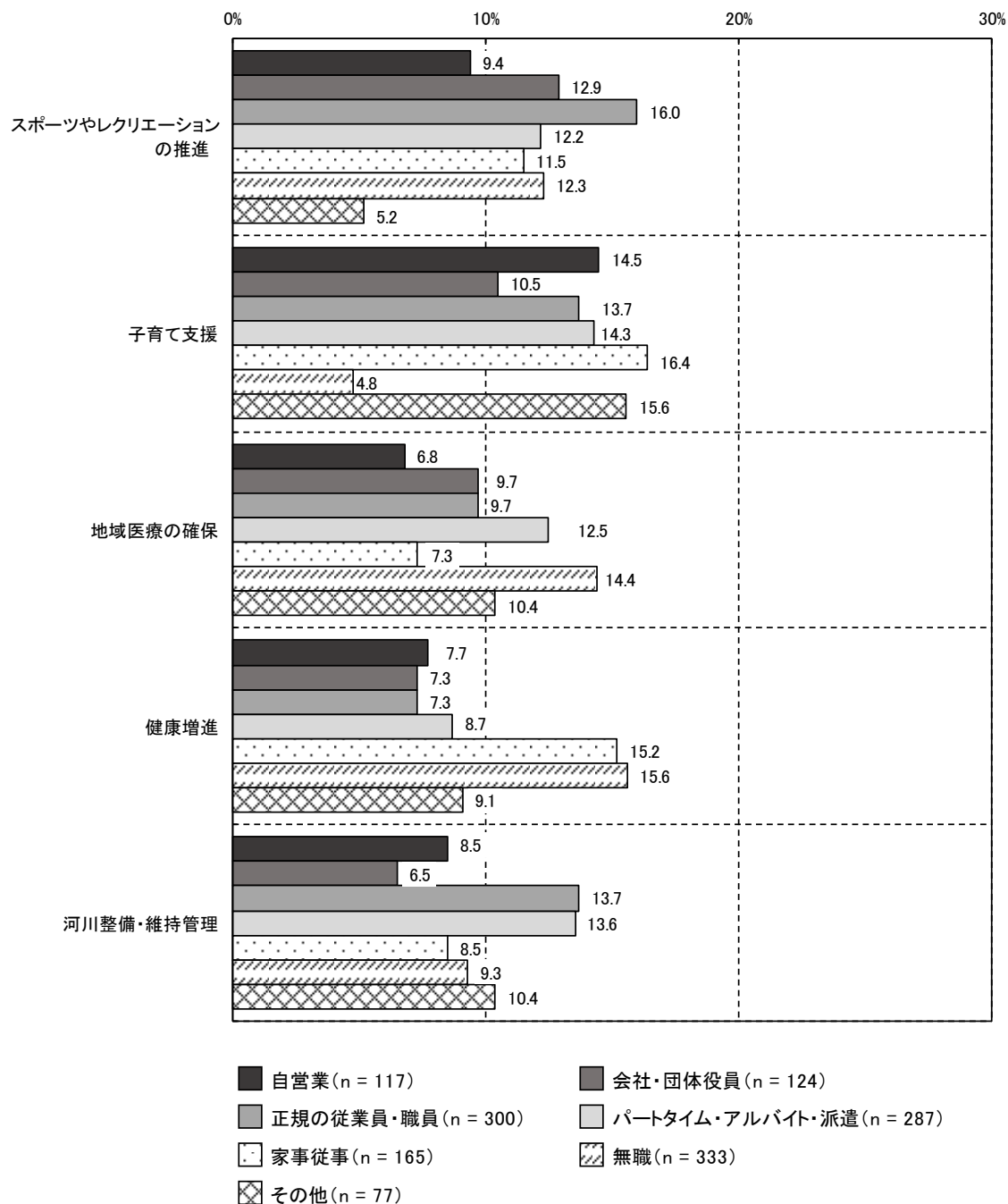
職業別（図 10-6）でみると、その他を除くいずれの職業においても「防災対策」が最も高く、そのうち無職が 25.2%と最も高くなっている。その他では「道路整備・維持管理」が 23.4%と最も高くなっている。

図 10-6 【職業別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-6 【職業別】 県の取り組みでよくやっていると思う分野(上位 10 施策) (続き)



※ その他には、自由業、学生を含む。

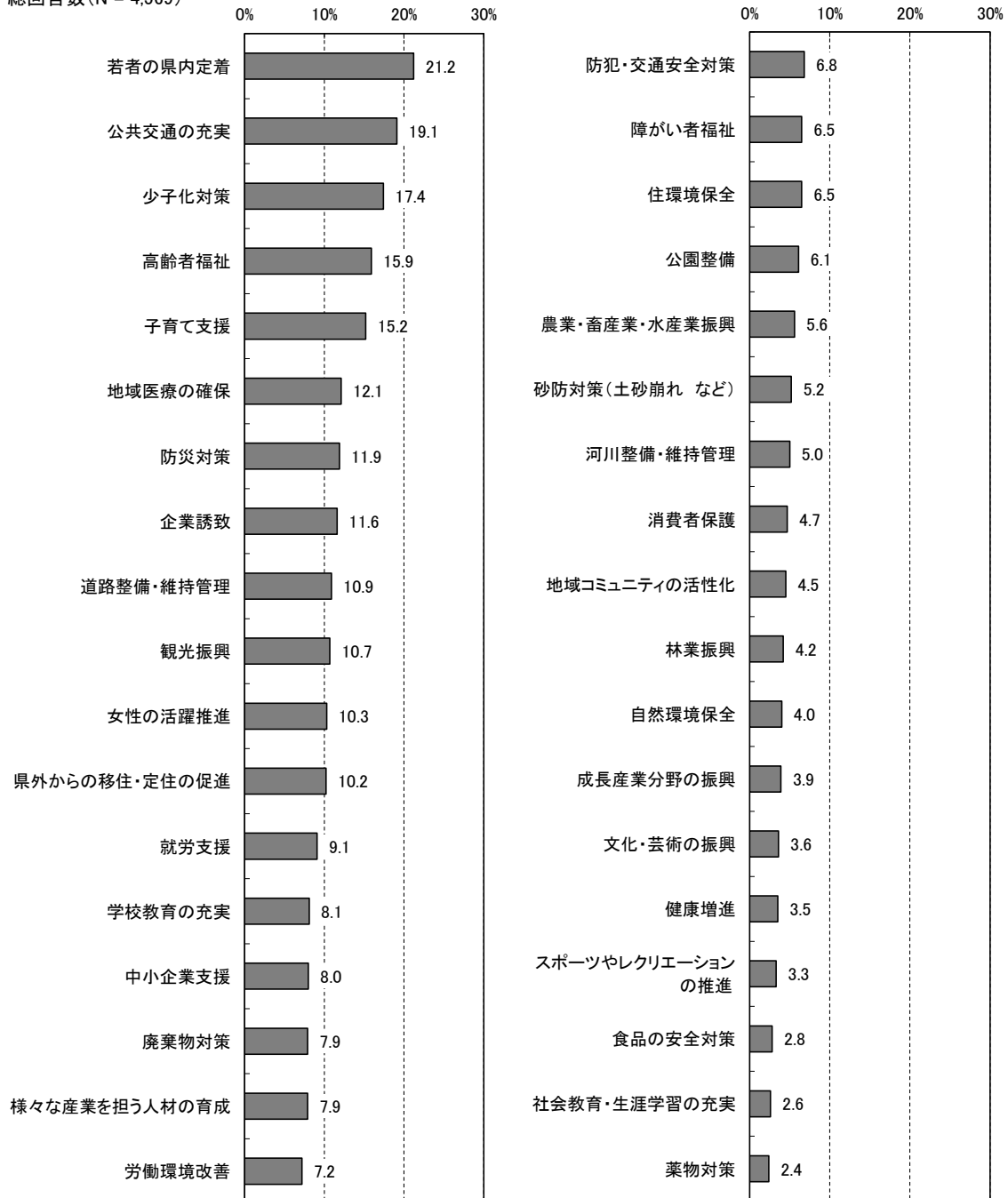
【県の取り組みで努力が足りないと思う分野】

全体（図 10-2-1）でみると、「若者の県内定着」が 21.2%と最も高く、次いで「公共交通の充実」（19.1%）、「少子化対策」（17.4%）の順となっている。

図 10-2-1 県の取り組みで努力が足りないと思う分野

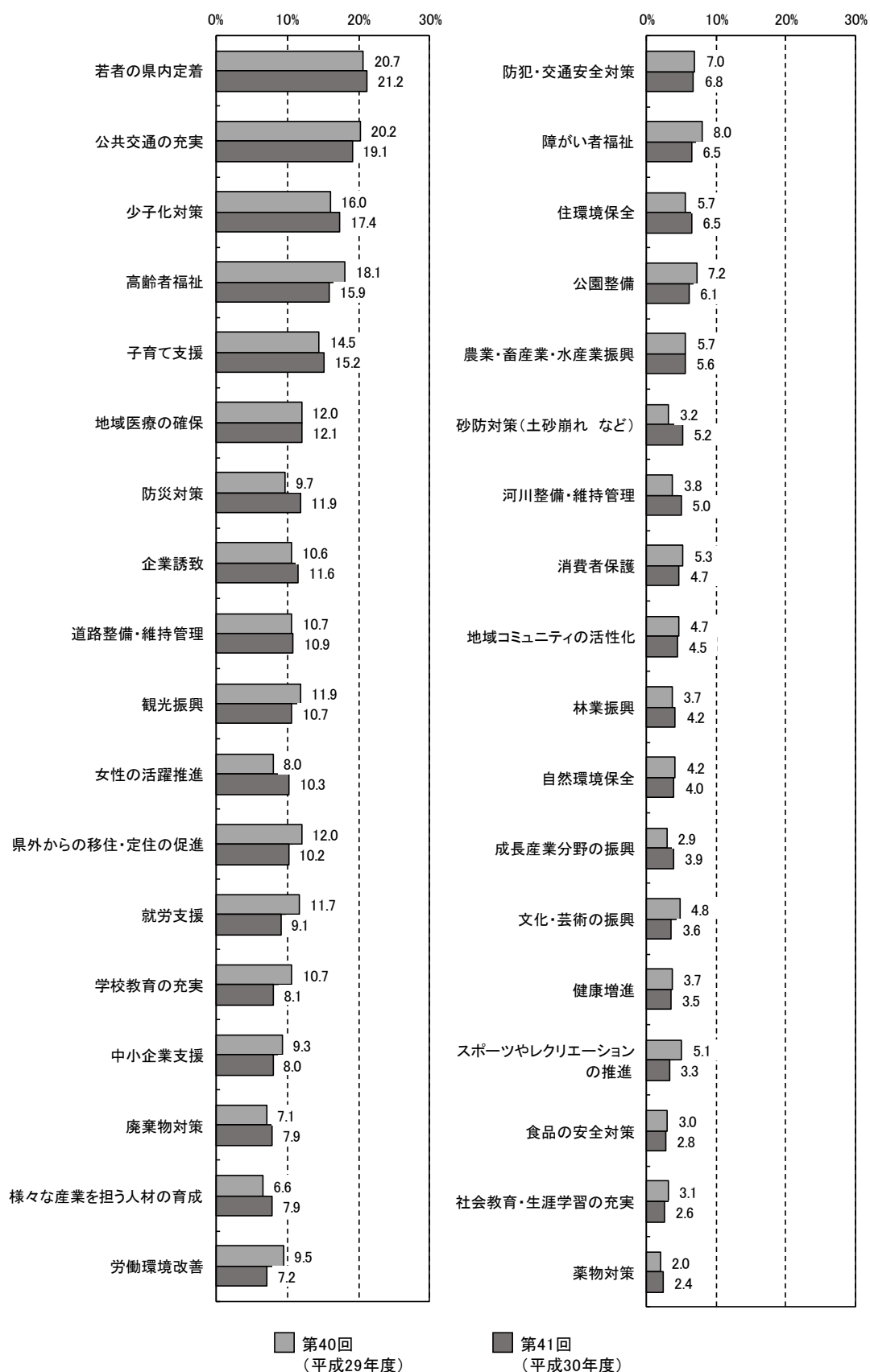
回答者数(n = 1,436)

総回答数(N = 4,569)



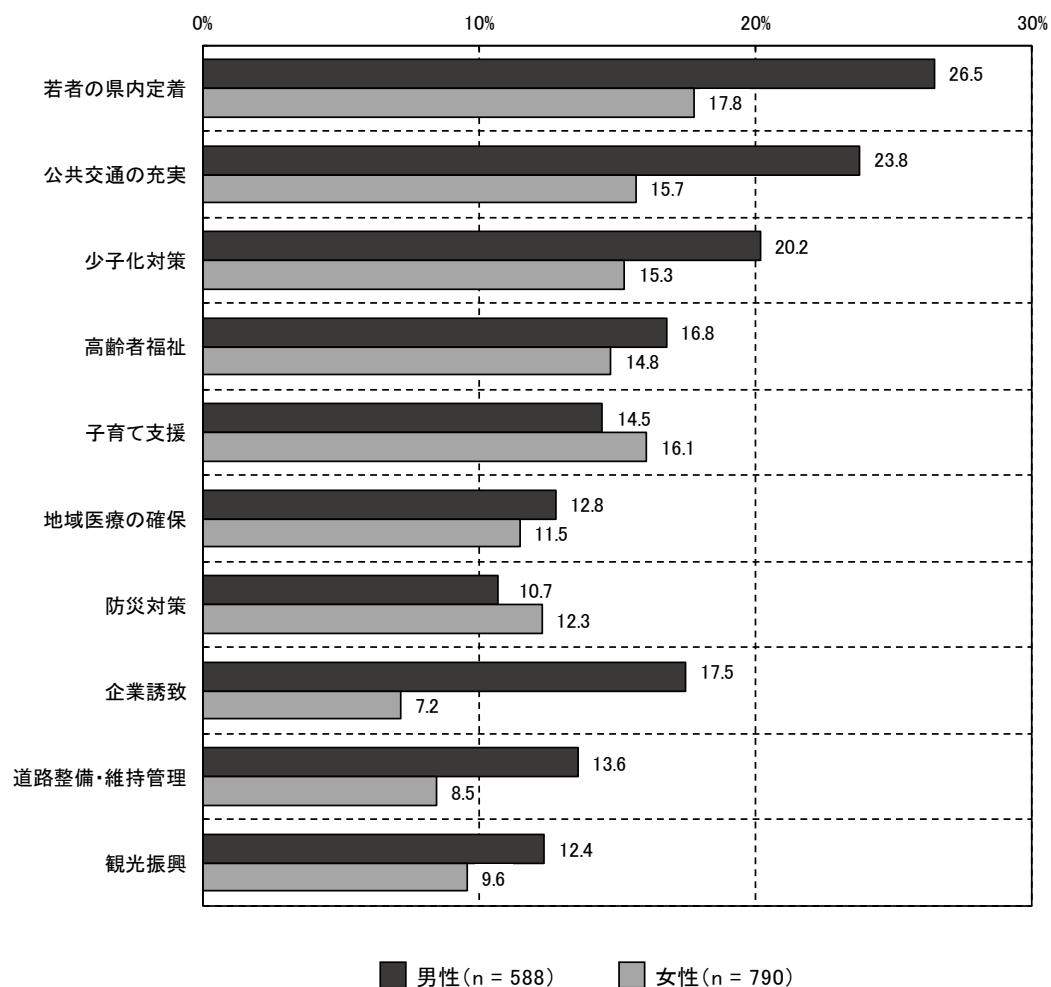
前回比較（図 10-2-2）でみると、前回と同様に「若者の県内定着」が 21.2%と最も高く、次いで「公共交通の充実」（19.1%）となっている。第3位は「少子化対策」（17.4%）で前回の「高齢者福祉」と逆転している。

図 10-2-2 【前回比較】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野



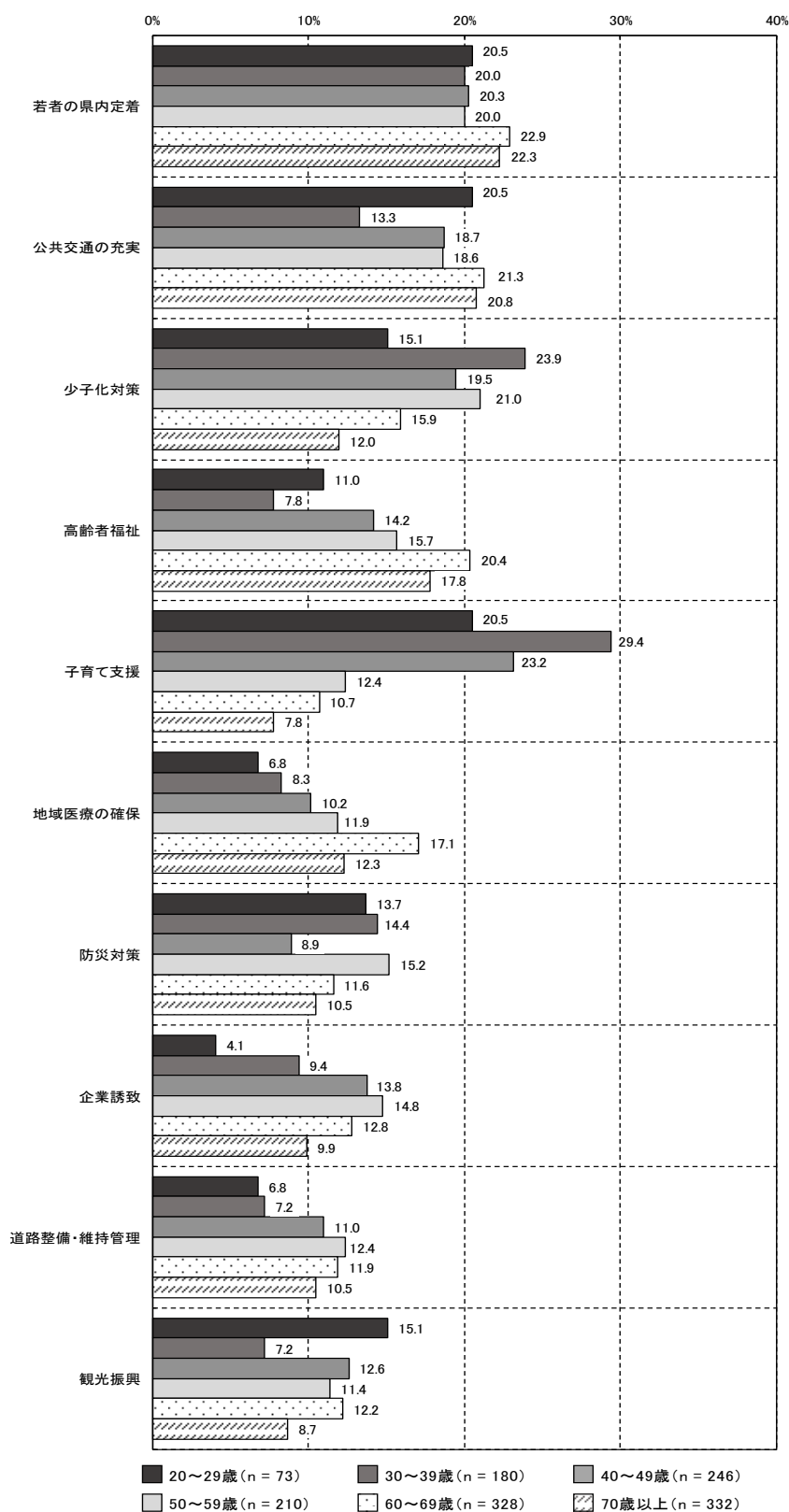
性別（図 10-2-3）でみると、男女ともに「若者の県内定着」が最も高く、男性が女性より 8.7 ポイント高くなっている。「企業誘致」では 10.3 ポイント、「公共交通の充実」では 8.1 ポイント、男性が女性よりそれぞれ高くなっている。

図 10-2-3 【性別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野（上位 10 施策）



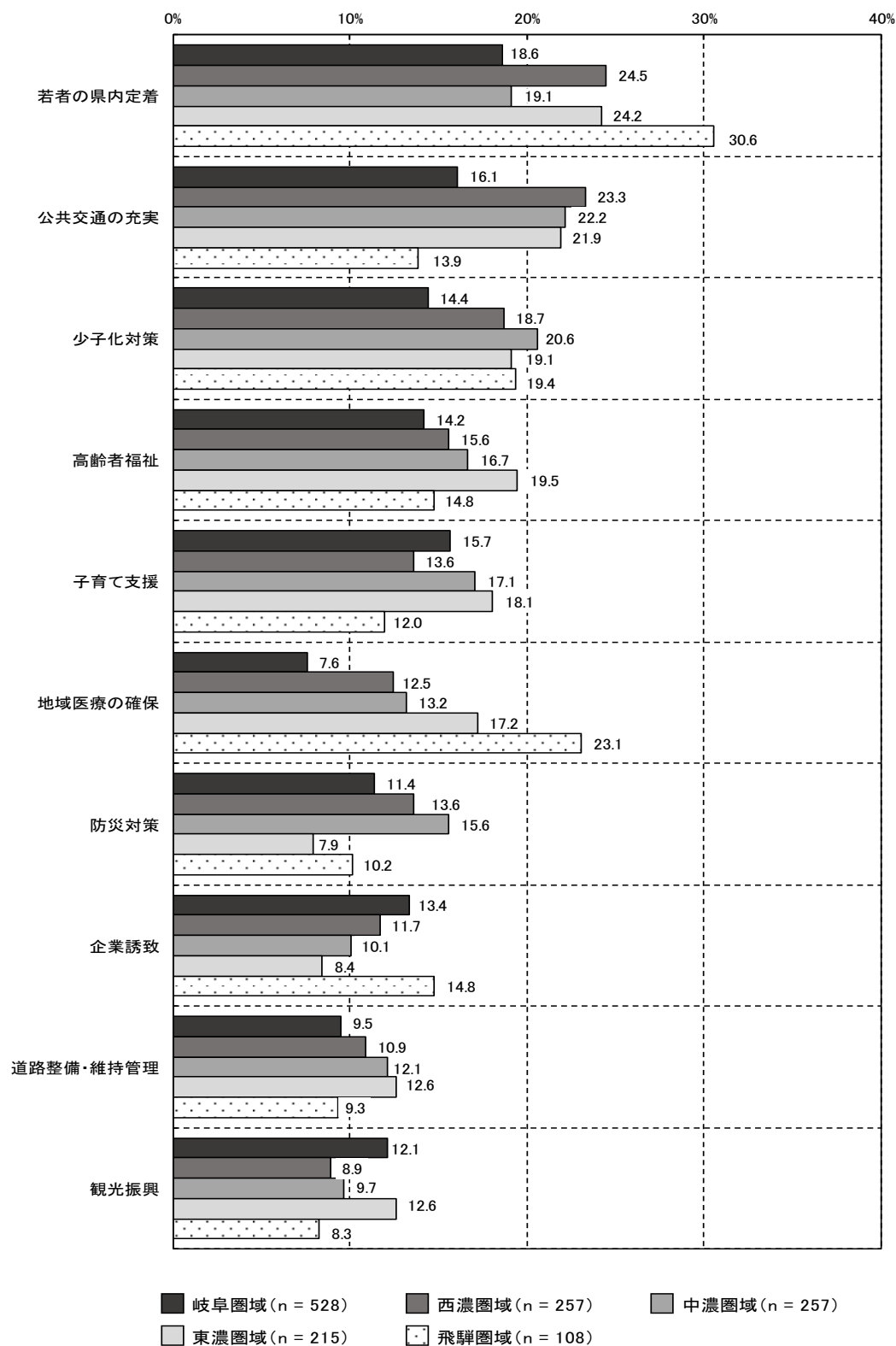
年代別（図 10-2-4）でみると、20 歳代は「若者の県内定着」、「公共交通の充実」、「子育て支援」がそれぞれ 20.5%と最も高くなっている。30 歳代、40 歳代は「子育て支援」、50 歳代は「少子化対策」、60 歳代、70 歳以上は「若者の県内定着」が、それぞれ最も高くなっている。

図 10-2-4 【年代別】県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



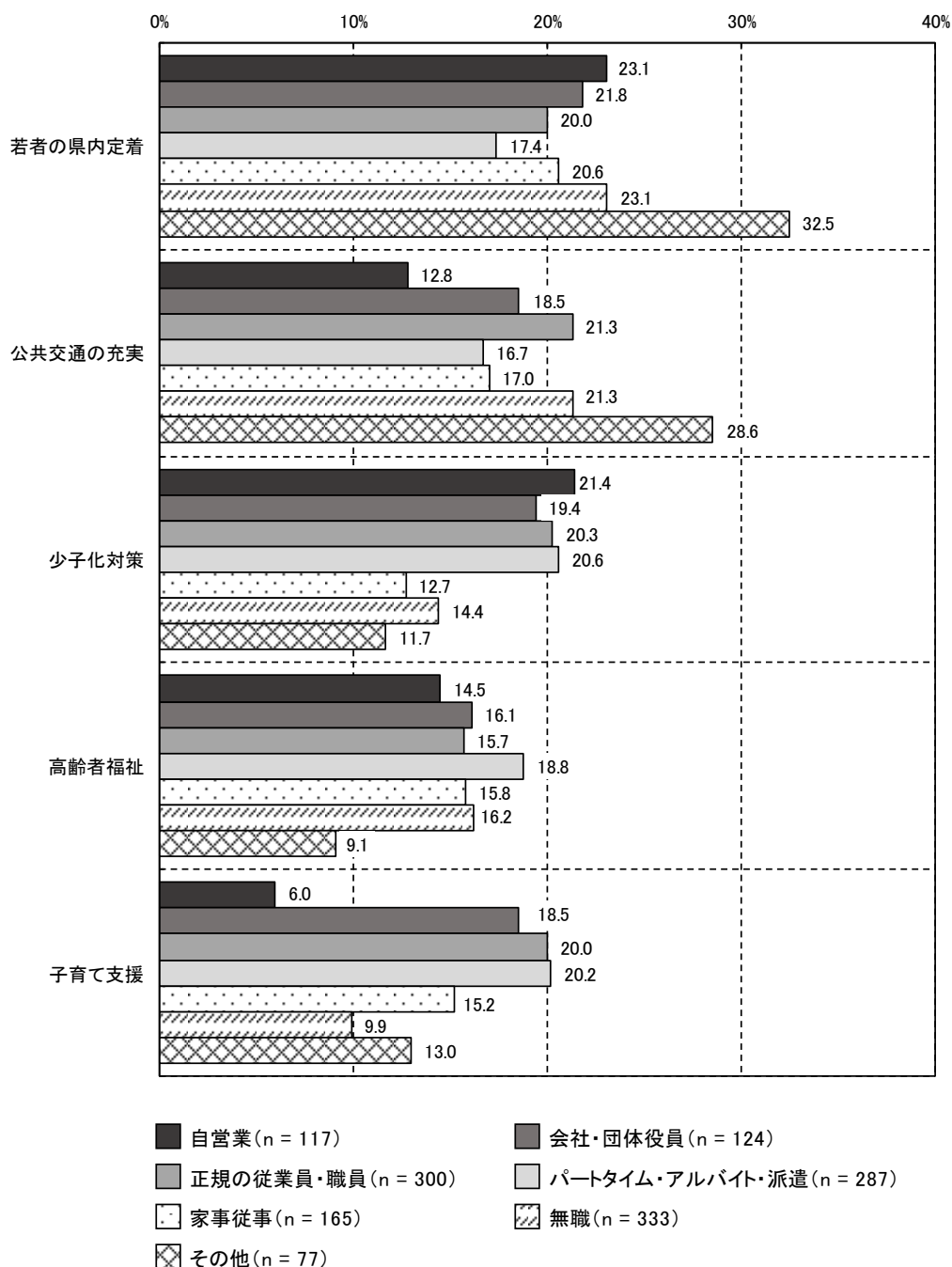
居住圏域別（図 10-2-5）でみると、中濃圏域以外の全ての圏域で「若者の県内定着」が最も高く、そのうち飛騨圏域が 30.6%と最も高くなっている。中濃圏域では「公共交通の充実」が最も高く、22.2%となっている。

図 10-2-5 【居住圏域別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



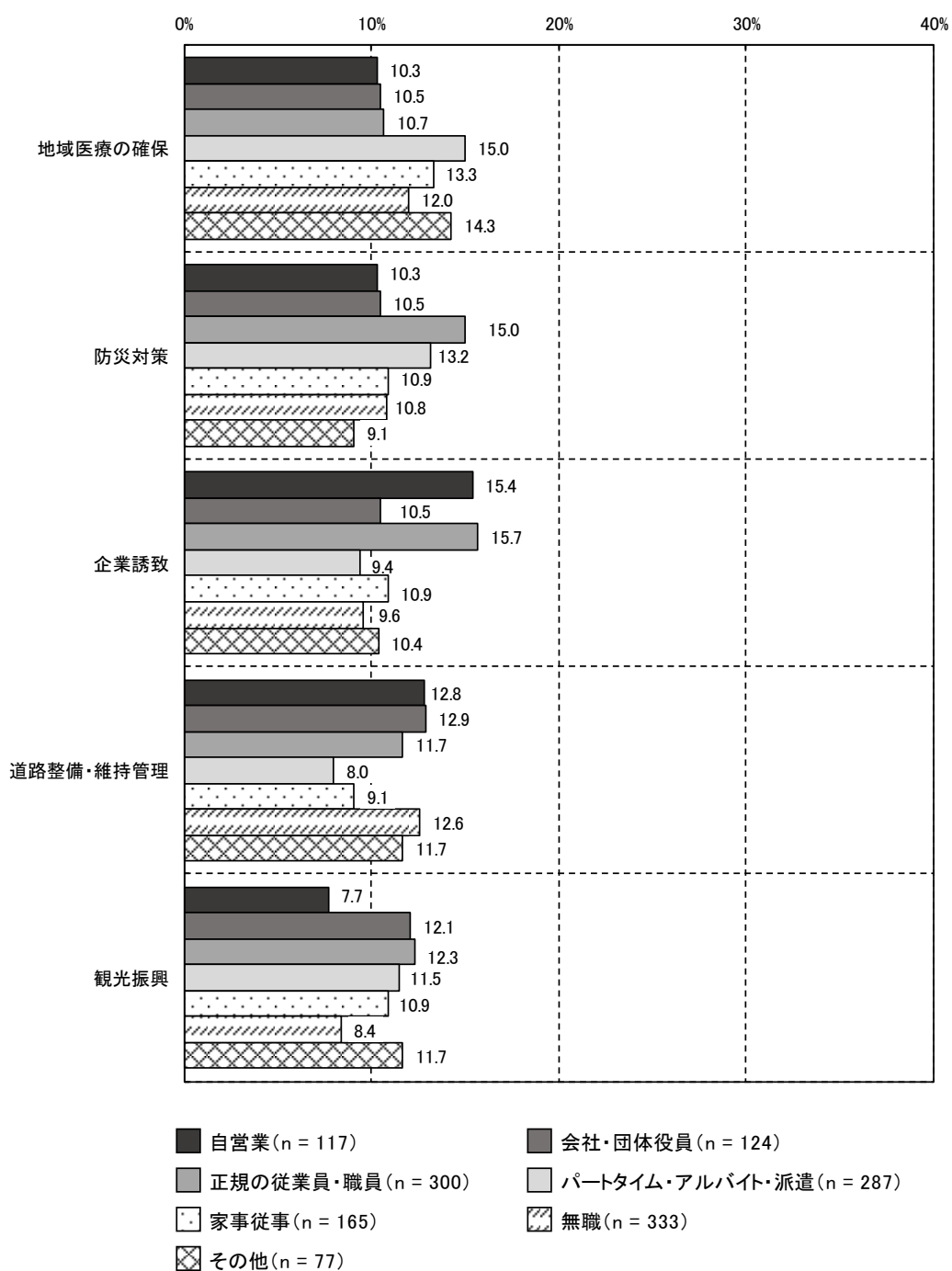
職業別（図 10-2-6）でみると、正規の従業員・職員、パートタイム・アルバイト・派遣を除くいずれの職業においても「若者の県内定着」が最も高く、そのうち、その他が 32.5%と最も高くなっている。正規の従業員・職員は「公共交通の充実」が最も高く、21.3%となっている。パートタイム・アルバイト・派遣では「少子化対策」が最も高く 20.6%となっている。

図 10-2-6 【職業別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策)



※ その他には、自由業、学生を含む。

図 10-2-6 【職業別】 県の取り組みで努力が足りないと思う分野(上位 10 施策) (続き)



※ その他には、自由業、学生を含む。